

令和6年度富士宮市・栄州市中学生交流研修事業（受入） 報告書

1 事業概要

(1) 目的

当事業は、両市における交流体験をとおして、文化や習慣の違いを乗り越え、互いを尊重し合うことのできる人間関係づくりの力を高め、国際化時代にふさわしい青少年の健全な育成を目指す。また、日韓それぞれの文化や生活に直接触れることにより、両国に共通する東洋文明の素晴らしさを体験的に理解し、豊かな心とたくましい体を備えた「有徳の人づくり」に資することを目的とする。

この目的を達成するため、中学生を隔年で相互に派遣する。富士宮市が派遣する際は、市内13校から2学年の生徒を1名（学年の人数が150人を超える学校からは2人）を選出し、訪問団を結成する。

(2) 韓国・栄州市について

人口：103,000人

面積：670.10km²

市長：朴南緒（パクナムソ）

概要：韓国の東南部に位置する慶尚北道に属し、道北部の山岳地帯に所在する。

首都ソウルからは高速道路で2時間半ほどを要する。

特産品は、豊基（プンギ）高麗人参や栄州リンゴ、栄州韓牛、豊基人絹などがある。

主な観光名所は、浮石寺（プソクサ）、紹修書院（ソソソフォン）、小白山（ソベクサン）、ソンビ村などがある。

提携日：2012（平成24）年11月5日に友好交流関係都市提携を締結

市の位置：



2 来訪者名簿

区分	所属(職位)	氏名	備考
中学生(18) ※全員2年生	栄州中学校	クオン・テファン	
	栄州中学校	チョン・ジュノ	
	栄州女子中学校	ベ・スンヒョン	
	栄州女子中学校	ウ・ソユン	
	豊基中学校	ファン・ユビン	
	浮石中学校	キム・ギュヨン	
	昭修中学校	ソ・ミンギョン	
	栄光中学校	ソ・ヨンウ	
	栄光中学校	クオン・ボソン	
	大栄中学校	ジ・デハン	
	大栄中学校	パク・テジン	
	金鷄中学校	イム・ハウン	
	栄光女子中学校	キム・ナヨン	
	栄光女子中学校	イム・スンジ	
	栄光女子中学校	チョン・ギプム	
	東山女子中学校	アン・ヒョン	
	東山女子中学校	ファン・ヒョンジ	
	東山女子中学校	パク・セウン	
引率(8)	国際交流協会(副会長)	キム・ドンジョ	団長
	国際交流協会(理事)	ゴン・テリム	
	国際交流協会(事務局長)	キム・ソクヨン	
	栄州市体育会(副会長)	パク・フンソ	
	栄州市体育会(副会長)	ソン・ホントック	
	東山女子中学校(校長)	キム・ソヨン	
	栄光女子中学校(教師)	ホン・スンジョン	
	栄州市総務課	キム・ソンス	担当

3 受入行程

日時	時間	内容	備考
11/2 (土)	10:45	羽田空港 着	
	15:00	富士急ホテル 着	
	15:45	イオンモール散策	
	17:30~18:45	食事 (鉄板焼ちゃん)	
11/3 (日)	9:30	染物体験 (ハンカチ作成)	富丘交流センター
	12:00~13:15	食事 (ポルカキッチン)	
	13:45	ミルクランド	バター作り体験
	15:15	あさぎりフードパーク	
	17:00	ホストファミリーへの引渡し	富丘交流センター
	18:00~20:00	国際交流協会 夕食会	
11/4 (月) 引率者のみ	08:30~11:30	市内北部 視察	・白糸の滝 ・田貫湖 ・あさぎりフードパーク
	12:00~13:00	市議会 昼食会	
	13:30	世界遺産センター 視察	
	15:45~17:45	富士宮まつり 参加	
	18:30~20:00	夕食 (遊山)	
11/5 (月)	9:30~10:00	ホームステイ終了	富士宮市役所 7階 710 会議室
	10:20~13:00	大富士中学校	交流会、授業体験、給食
	13:20~15:20	西富士中学校	交流会、校外学習
	16:00	富士急ホテル	
	18:00~20:30	市主催 夕食会	割烹旅館たちばな
11/6 (火)	7:00	羽田空港へ	
	10:00	羽田空港 着	

4 受入の概略

【1日目】

- イオンモール散策

館内自由行動。栄州市中学生は日本のお菓子やアニメグッズなどを購入していました。

- 夕食（鉄板焼ちゃん）

お好み焼きと富士宮市の名物である富士宮やきそばを味わっていただきました。



【2日目】

- 染物体験

市内在住で染物を製作されている市場良子氏と市場勇太氏のお二人に講師を務めていただきました。市場氏は、日本最大の総合美術展覧会である「日本美術展覧会」通称「日展」で入選された実績があるなど、富士宮市を代表する芸術家です。

体験では、ハンカチにあかねで染色を施しました。ビー玉や割り箸、輪ゴムを用いて自分の好きな模様をつけることができるため、中学生は楽しんでいた様子でした。



● ミルクランド

バター作り体験をしたほか、ソフトクリームを食べたり動物と触れ合ったりと、富士宮市の特産である乳製品を知ってもらう良い機会となりました。



● あさぎりフードパーク

園内自由行動とし、富士宮市の特産品をお土産として購入するなど、各自があさぎりフードパークを楽しみました。また、富士山を綺麗に望むことができ、とても喜んでいる様子でした。やはり富士宮市にとって富士山が一番のおもてなしなのだと感じました。



● ホストファミリーへの引き渡し

中学生18人は、11月3日（日）夕方から11月5日（火）朝まで、市民ボランティア16家庭にホームステイをして日本文化を体験しました。



● 富士宮市国際交流協会（FAIR）主催 歓迎夕食会

場所：富士宮市富士宮駅前交流センター2階 集会室

人数：31人（栄州市行政訪問団10人、中学生訪問団引率8人、富士宮市国際交流協会8人、富士宮市関係者5人）

内容：① 歓迎のあいさつ（富士宮市国際交流協会 堀澤理事長）

② 栄州市訪問団あいさつ

- ・ パク ナムソ 栄州市長
- ・ イ サングン 栄州市議会副議長
- ・ キム ドンジョ 栄州市国際交流協会副会長

③ 出席者紹介

④ 記念品贈呈、記念撮影

⑤ 乾杯（富士宮市国際交流協会都市交流委員会 吉田委員長）

⑥ 歓談

⑦ 閉会のあいさつ（富士宮市国際交流協会 植松副理事長）

食事：ケータリング形式



【3日目】※中学生はホームステイ中のため、引率8人のみ行政訪問団と合流

● 市内北部視察

白糸の滝：前日の大雨の影響からか、水量が非常に多く、迫力のある滝を見ることができました。カメラを構える様子が多く見られました。



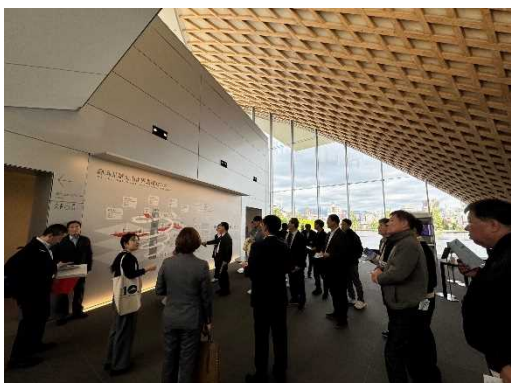
田貫湖：テラス周辺の散策を予定していましたが、栄州市の方からキャンプ場の様子を見たいと希望があり、南サイトのキャンプ場を散策。韓国では、テントでのキャンプ場が珍しい（日本でいうグランピングが主流とのこと）とのことで、非常に興味を示していました。



あさぎりフードパーク・道の駅朝霧高原：お茶や地酒等、富士宮市の特産品を楽しんでいただきました。



富士山世界遺産センター：施設職員の案内により館内を見学。富士山の歴史等について見識を深めていただくことができました。



● 富士宮市議会主催 歓迎昼食会

場所：志ほ川バイパス店

人数：32人（栄州市行政訪問団10人、中学生訪問団引率8人、富士宮市議会6人、市議会事務局3人、富士宮市関係者5人）

内容：① 歓迎のあいさつ（富士宮市議会 諏訪部議長）

② 栄州市訪問団あいさつ

- ・ パク ナムソ 栄州市長
- ・ イ サンゲン 栄州市議会副議長

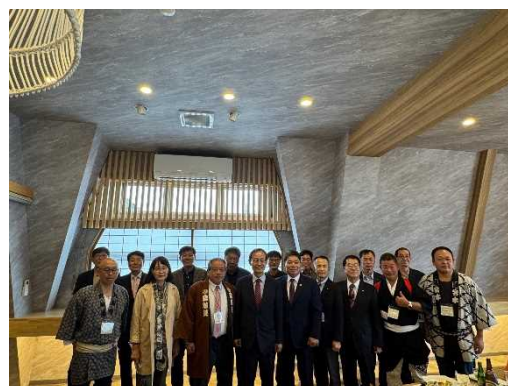
③ 出席者紹介

④ 記念品贈呈、記念撮影

⑤ 乾杯（富士宮市議会 辻村議会運営委員長）

⑥ 歓談

⑦ 閉会のあいさつ（富士宮市議会 佐野副議長）



● 富士宮まつり見学

式典に参加。朴市長と金副議長にご挨拶いただき、富士宮市民に栄州市との友好関係についてPRすることができました。また、栄州市の皆さんにお祭りの熱気と日本の文化を十分に感じ取っていただくことにつながりました。



● 夕食（遊山）

韓国では豚焼肉（サムギョプサル）が一般的ということもあり、日本式の焼肉を味わっていただきました。



【4日目】

● ホストファミリー引渡し（ホームステイ終了）

11月3日（日）夕方から11月5日（火）朝までのホームステイが終了し、ホストファミリーから訪問団に中学生が引き渡されました。涙を流しながら別れる生徒とファミリーがいたことから、言語や文化が異なっても通ずるものがあり、短い期間ではありましたが有意義なホームステイであったと感じました。

● 学校交流（午前：大富士中学校、午後：西富士中学校）

2つの中学校において、交流会や授業体験などを実施。大富士中学校では、中学1年生による歓迎会や英語の授業体験、給食体験により交流を図りました。西富士中学校では、歓迎会や学校紹介、校外見学（田貫湖、白糸の滝）により交流を図りました。

いずれの学校においても、英語により両市の生徒がコミュニケーションを図っており、短い時間ではあったが打ち解けている様子でした。また、西富士中学校では、教育委員会から全生徒に配布している外国語ハンドブックを用いて、田貫湖と白糸の滝の案内を韓国語でトライしており、西富士中学校の先生から非常に良い経験になったというご意見をいただきました。



● 歓迎夕食会（行政訪問団と合同）

場所：割烹旅館たちばな

人数：51人（栄州市行政訪問団10人、中学生訪問団引率8人、栄州市中学生18人
富士宮市関係者15人）

内容：① 歓迎のあいさつ（富士宮市 須藤市長）

② 栄州市訪問団あいさつ

- ・ パク ナムソ 栄州市長
- ・ イ サングン 栄州市議会副議長

③ 出席者紹介

④ 記念品贈呈、記念撮影

⑤ 乾杯（富士宮市 渡邊市民部長）

⑥ 歓談

⑦ 閉会のあいさつ（富士宮市教育委員会 望月教育長）



【5日目】早朝、帰国の途につく

5 成果等

栄州市中学生訪問団の受入は、平成29年度以来、実に7年ぶりとなった。また、今回の受入では、かねてより栄州市と協議していたホームステイを実施した。ホストファミリーについては、公募により市民ボランティアを募ったが、16家庭の皆さまにご協力いただくことができた。ホームステイでは、各家庭に受入中の食事や行程を考えていただき、栄州市中学生からは日本の文化がより体験できた、行ってみたかった場所に行くことができた等、好評であった。ホストファミリーからも、良い機会になったという前向きな意見が多く寄せられた。

また、中学校交流において、両市の生徒とも自国とは異なる言語や文化に触れ、刺激を受けたようである。中学生という多感な時期におけるそのような経験は、自身の視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成することにつながると考えられる。

富士宮市が掲げる将来都市像「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」の実現に寄与するため、引き続きこのような市民レベルの国際交流の機会を創出していきたい。